

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ理念

事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献し、フェアスピリットと変革への挑戦を大切にし、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニーを目指す。

経常利益
300億円

経常利益
500億円

ROIC
5.8%

ROE
6.6%

② 中長期の経営戦略

1. 国内バリューチェーン最適化

工場再編や最適配置を実行し、業界における相対優位なポジショニング形成を目指す。

3. DXによる効率化・変革

業務効率化と売上向上を同時達成。国内就労人口漸減に対応し、全社コミットメントとして公的認定取得を目指す。

2. 海外・成長事業の展開

冷凍食品事業や未来の食の開発へ領域を拡大し、フードロス削減やたんぱく質安定供給に取り組む。

4. サステナビリティ推進

脱炭素、人権尊重、アニマルウェルフェア配慮に取り組み、持続可能な社会への貢献。

③ 対処すべき課題

① 食肉事業の利益率向上

- ・ 2024年度十和田ビーフプラント稼働開始で販売網強化
- ・ 食肉商品の付加価値化とリスク管理の高度化

② 物流体制の持続可能性

- ・ 社外協業先との連携強化による物流体制構築
- ・ トラック積載率10%向上で政府目標達成を目指す

③ 人的資本と組織風土醸成

- ・ 自律的に挑戦する人材育成と多様性尊重
- ・ エンゲージメントスコアを新たなKPIとして設定、役員報酬に組み入れ

面接で使えるポイント

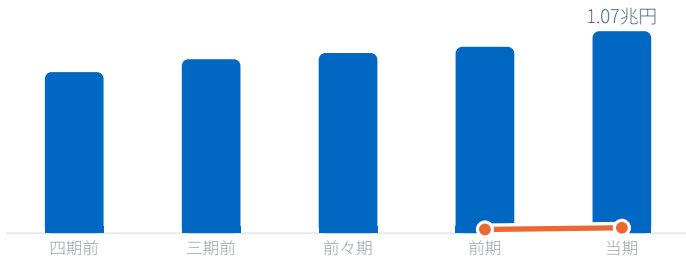
- ・ 2026年度経常利益300億円、2035年度500億円目標に向け、DXとサステナビリティで成長基盤強化
- ・ 静岡県三島市の新工場や十和田ビーフプラント等への投資で、食品リーディングカンパニー実現を推進
- ・ 中期経営計画3年で営業キャッシュフロー累計800億円見込み、株主還元380億円と成長投資850億円で飛躍的成長を目指す

伊藤ハム米久ホールディングス株式…

食料品 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 2296

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.07兆円

営業利益率
2.7%

財務健康度
40点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 61.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
766万円

食料品内 33位/120社

平均年齢
41.0歳

食料品内 66位/121社

平均勤続
16.4年

食料品内 41位/121社

女性管理職
11.7%

食料品内 46位/106社

男性育休
73.3%

食料品内 64位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

要するに

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

…

主力事業・セグメント

- Meat 62.8%
- 加工食品 37.2%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高1.07兆円の大企業
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

